

学校教育目標 「一人ひとりが輝き、地域から信頼される学校」

「知」 「徳」 「体」 「コミュニケーション」
かしこい子 やさしい子 たくましい子 つたえあう子

研究テーマ

学びに向かう力を育む

～子どもが自ら問いをもち、自ら学ぶ授業を通して～

児童につけたい力（育成すべき資質・能力）

未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力等」
の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性等」の涵養

生きて働く
「知識・技能」の習得

2つの研究の柱

【問いの発見を大切にした授業展開の工夫】

児童が主体的に学習に取り組むために重要な役割を果たす「問い」。子どもにとって、「問い」が生まれる場面を設定する。

◆「ねらいに迫る問い」となっているか

⇒的確に実態を把握し、つけたい力やねらいを明確にする。

◆「子どもが追求したくなる問い」となっているか

⇒「既習」「友達の考え」「日常的な事象や感覚」「予想」などとの“ずれ”を生かして問いを生む。

【適切な出番を創り出す教師力の向上】

事前に、本時目標や児童の実態、つけたい力を意識して、予想される教師の“出番”を具体的に考えることで、学校全体の授業力向上につなげる。

◆“出番”とは・・・

⇒
・本時目標達成の手立てとなり得る
・児童の思考を深める
・児童につけたい力の定着を意図した

声かけ・発問・切り返し・問い返し・板書 等

◆“適切な”出番

⇒タイミング、言葉の精選を、授業の流れや子どもの様子に合わせて瞬時に判断する。

南足柄市の研究 【令和元年度南足柄市学びづくり推進研究事業計画】

研究主題 夢と希望を持って、粘り強く自分の道を切り開く子どもの育成
～「確かな学力」の向上をめざした指導の工夫・改善～